

# 令和元年度事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

はじめに

令和元年度の景気は、前年度に引き続き、穏やかな回復基調にある中、少子高齢化社会と人口減少が進んでいることから、有効求人倍率は高水準で推移し、企業の人出不足感強まっている状況にあります。

このような状況から生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の就業率を高めていくことが重要であり、この担い手であるシルバー人材センターに向けられる期待も大きなものがあります。

令和元年度の当センター会員数は、平成30年度末が260名、令和元年度末では261名となり、会員数はほぼ横ばいになっています。事業実績は、受注件数は前年度を下回ったが、契約金額は前年度を上回る数値となりました。

しかしながら、令和2年3月より、新型コロナウイルス感染拡大が大きな社会問題となり、その感染拡大防止のため、市内の小中学校が休校となり、当センターから学校関係で就業している会員の就業が中止となるなど、大変な影響を受け始めております。今後の安全就業を踏まえ、感染拡大防止のための適切な対応に努めて参ります。

令和元年度事業の取り組みに際し、会員及び発注者の方々、並びにかほく市をはじめ県連合会から、多大なるご支援を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。以下令和元年度事業実績状況について報告いたします。

## 事業報告

### 1. 会員の入会促進と作業マナー向上

- (1) 機関紙及びかほく市広報紙を通じて、入会説明会開催等の周知を図った。
- (2) 「一人の会員が一人の仲間を増やす」をモットーに地域活動や個々の会員勧誘活動を進め会員の入会促進に努めた。(36名入会)
- (3) 講習会等を開催し、作業マナー及び会員の一般教養を高めるための資質向上を図った。

- 機関紙発行 (1月10日 新聞折り込み)
- マナー講習会 (2月6日 31名参加 講師：畑中奈緒美氏)

### 2. 組織活動の活性化

会員が希望する仕事や、参加したい同好会活動、農作物栽培活動、受講したい講習会など、シルバー事業についての意向調査を行い、各推進委員会(安全・適正就業、交流研修、就業開拓、普及啓発、農作物栽培)が中心となり清掃活動を実施し、組織活動の活性化を図った。

- 会員アンケート調査 (1月 260名宛発送)
- ボランティア清掃 (11月14日 32名参加 七塚中央公園)

### 3. 普及啓発活動の推進

- (1) パンフレット・チラシ・ホームページ作成等により周知を図った。
- (2) 発注者へのアンケート調査を実施し、新規顧客の獲得や受注件数の増加を図った。
- (3) 市内で行われる各種イベントへの参加、新聞等へのセンター事業の情報提供等によりセンター活動の周知に努めた。
- (4) 会員と一般市民との交流青空イベントを実施した。
- (5) センター独自の広報の充実を図った。
  - ・会員だより等発行（毎月）
  - ・かほく市生涯学習フェスティバル参加（10月26日～27日）
  - ・お客様満足度アンケート調査  
（12月に419人(社)へ発送）
  - ・ぶどう狩り大会の開催（8月3日）
  - ・「シルバー人材センターをご利用下さい」のチラシ発行  
（3月26日新聞折り込み）

### 4. 事業拡大と就業機会の拡大、派遣就業の取り組み

- (1) 27年度より受託を開始したかほく市からの「軽度生活援助サービス」について、29年4月よりかほく市の介護予防サービスの仕組みが変わったことに伴い、日常生活上の援助が必要と市から判断された市民に対して、会員に対し市からの説明会を実施し、必要に応じて支援の研修会を実施した
- (2) 就業機会の拡大と担い手の育成を図るため、農作物の栽培講習会を実施した。
- (3) 労働者派遣事業の推進を図り、適正就業に努めた。
  - ・軽度生活援助事業の実施（3名の利用者に対し会員4名で延べ132回）
  - ・農作物栽培の実施（38名参加 ぶどう畑 野菜畑）  
栽培品目 デラウエア、サツマイモ、ネギ、落花生、ジャガイモ、等

### 5. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会を中心として交通安全講習会及び安全パトロールを強化し、安全就業に努めた。

- ・交通安全講習会（2月6日 会員31名参加）
- ・市内安全パトロール  
（かほく市の委員5名参加 7月31日かほく市内4か所）
- ・合同パトロール かほく市・津幡町・内灘町・宝達志水町・石川県  
シルバー連合会の安全推進員が参加（7月23日かほく市内）
- ・県警支援シルバードライビングスクール  
（7月6日・11日 会員26名参加）  
（太陽自動車学校指導員による高齢者対象の運転診断と安全指導）

## 6. 技能・技術講習会の開催

会員や発注者のニーズに対応できる人材育成を目的とした当センターと石川県シルバー人材センター連合会との共催による講習会に参加した。

- ・草刈り機技能講習会（6月19日 10名受講）
- ・運転技能実技講習会（10月25日 11名受講）
- ・農作物栽培講習会（5月10日、6月24日、11月13日延31名受講）  
尚、予定していた剪定講習会は連合会より会員以外で開催の通達があり、当センターでは開催されなかった。

## 7. 会員の福利厚生と健康管理の向上

- (1) 会員相互の親睦を図るための活動の支援を行った。
- (2) 講習会や軽運動教室等を開催して、会員の健康意識の高揚に努めた。
- (3) 事務所会議室を、会員に日を決めて解放し、サークル活動等の支援を行った。

- ・健康体操教室（10月10日 31名参加）
- ・健康料理講習会（12月11日 12名受講）
- ・パソコン教室（H31年4月～R2年3月 5～10名参加 毎月2回）
- ・卓球愛好会（H31年4月～R2年3月 5～8名参加 毎月2回）

## 8. 中長期計画の実績評価

平成28年4月に策定した中長期計画について、計画3年目の実績を中長期計画点検委員会で点検した結果、計画目標に対し、以下の結果であった。

会員数=1.9%減 粗入会率=0.1ポイント減

就業率の内、請負・委託=7.1ポイント減、派遣=7.8ポイント減

受託件数=8.4%増 受託金額=10.1%増

尚、剪定・清掃・運転業務の職種の会員が高齢化や体力的問題で不足しており、機関誌やチラシ・会員便り等で会員の入会促進を図ることを協議した。

## 9. 事務局体制の充実

全シ協や県連合会などの研修会等に積極的に参加して、多様化する地域社会や会員のニーズに的確に対応できるように職員の資質向上を図った。

特に、労働関係法の改正に伴い、令和2年4月1日から、国の「同一労働同一賃金制度」が実施されるため、元年度中に派遣先事業所から派遣元へ待遇等に関する情報収集に努めた。

以 上